

学ぶ楽しさ

趣味どきっ!

今日から楽しむ“金育”(全4回)
#1がんばるお金～金は天下の“働きもの”～
ほか

放送日:2023年3月1日・8日・15日・22日
放送時間:24分×4本



対象校種 高校

対象教科 家庭・商業・地歴・公民

この番組の良さ



● 楽しく学べる金融教育

高校では、2022年4月から、金融教育が義務化され関係教科等で取り組まれています。社会情勢等の変化により、予測困難な未来に向けて自ら資産を形成していく力が必要になってきました。

本番組は、全4回にわたり、『今日から楽しむ金育』と題して、芸能人3人を生徒役に授業を展開します。投資や投機、ギャンブルの違いから、金融ゲーム『金融クエスト』(日本証券業界)など体験的な学びが、金融について理解を深めます。また投資によるリスクについては3つのキーワード『長期・積立・分散』を踏まえ、金融ゲームの結果をもとに、わかりやすく解説されます。

18歳成人として、承諾なしにお金を借りられるようになり、クレジットカードやローンなど仕組みを理解しないまま利用することで、支払いが滞るなどリスクが高まる中、社会人になるにあたっての学びの一つとして本番組を活用することをお勧めします。

● お金をどうやって守るか?

投資のリスクなどをわかりやすく説明するとともに、リスク軽減や詐欺被害など、その対応についても事例を踏まえ詳しく解説されます。投資等に関する学びを深めると同時に、番組の事例から自分ならどうするか?など、セキュリティ意識を高める教材としても活用できます。

番組活用のポイント

● 金融ゲームで投資などを身近に感じる

番組では、#4に金融ゲーム『金融クエスト』(日本証券業協会)が紹介され、生徒役の3名の芸能人がゲームにチャレンジします。実際に教室でも『金融クエスト』に取り組むこともよいでしょう。増減する資産に一喜一憂する中で、楽しく金融について学ぶことができます。

番組の中で、金融の話は難しいイメージがあると生徒役の芸能人が話します。実際に金融ゲームに取り組み、各金融商品の特徴をはじめ、投資のリスクとリターンについて体験的に学ぶことで、社会情勢と密接に関連していることを実感し、知識の定着につながることでよいでしょう。また投資のリスクについてはその危険性を知るだけでなく、いかにリスクを抑えるか、番組ではその対応について、『長期・積立・分散』の3つの言葉をリスク軽減のキーワードとして取り上げます。さらに資産運用初心者が何から取り組めばよいかなど、そのメリットやデメリットなど具体的な金融商品名をあげ説明します。

楽しく体験的な学びを推進する教材として活用の可能性が広がります。

● 資産形成の力など金融リテラシーを身につける

令和4年度4月から高校では金融教育が義務化され取り組まれています。少子高齢化や年金財政の状況、成年年齢の引き下げなどにより、若い世代からの運用による資産形成の力など、金融リテラシーを身につけることが求められるようになってきました。

番組では、初心者から始める資産形成として、NISA(少額投資非課税制度)が紹介されます。『投資は1日にしてならず』と番組内で唱えられます。18歳から利用できる制度なので早い段階から資産形成に取り組めますが、利息のしくみや、リスクとリターンについて「投資による利益または損失」は自己責任であることなど、制度の利用にあたっては金融の基礎知識が重要になってきます。授業では#4のNISAの部分を取り上げ、資産形成の一つとして、少額投資非課税制度がどのような制度であり、どのような利点があるのかなど、学習を展開することもよいでしょう。

番組は、#1～#4までシリーズで展開されますが、#1の基礎知識から学ぶのはもちろん、お金に関する詐欺被害のリスク軽減について学ぶなら#3など、テーマごとの番組の活用がおすすめです。



執筆者
大分県立大分商業高等学校
教頭 森 浩三

金融に関する基礎知識を 体験的に身につける

対象校種

高校

対象教科

家庭・地歴・公民・商業

【授業時間 50分】 番組選択回まるごと視聴(24分)

生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<div style="text-align: center;"> <p>生徒の思考と活動の流れ</p> </div>	<div style="text-align: center;"> <p>教師の支援と評価</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の生活資金やライフイベント(結婚や出産等)、老後の生活のためにどうやってお金(資産)を増やしていけばいいだろうか?を問う ・『投資』について説明する ・日本人の平均寿命(厚生労働省)を伝え、老後にかかる費用がどのくらいか聞いてみる。 ・発言が自由にできる場を設定する。 ◆厚労省の資料参照 ◆銀行の預金利率当参照 ・投資や資産運用のイメージを聞いてみてもよい。 ・資産運用に関する基本的な知識として番組を視聴する。 ・必要に応じてメモを取るように伝える。 ・資産運用にはリスクがあることを確認する。 ・各自の疑問を、番組やインターネットを活用し、解を見出すよう指示する。 まとめた内容をグループで共有を促す。 ・政府がなぜ「貯蓄から投資へ」を勧めてきたのか、あらためて資産運用が必要か考える場面を設定する。 ・個人型確定拠出年金なども様々な選択肢の一つとしてあげることで、ライフプランニングなど学びを深めることが可能。 【主体的に学習に取り組む態度】 資産運用について、そのリスクを踏まえ、主体的に学習活動に取り組めたか。